

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月27日

上場会社名 ニッパン(日発販売株式会社)

上場取引所 東

コード番号 7563 URL <http://www.nippan-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石川 隆重

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 佐々木 孝

TEL 03-5690-3005

四半期報告書提出予定日 平成22年1月29日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	24,718	△20.0	320	△49.3	316	△50.0	245	△14.9
21年3月期第3四半期	30,894	—	632	—	632	—	288	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	11.04	—
21年3月期第3四半期	12.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	20,767	6,340	6,340	30.5	284.88	
21年3月期	18,592	6,197	6,197	33.0	275.89	

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 6,340百万円 21年3月期 6,141百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年3月期	—	3.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,100	△13.1	500	△22.1	490	△22.4	360	48.4	16.17

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社 (社名) 除外 1社 (社名 NHKインフォテックシンガポール有限公司)

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	22,800,000株	21年3月期	22,800,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	542,399株	21年3月期	539,570株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	22,258,687株	21年3月期第3四半期	22,520,351株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお上記業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、緩やかな回復基調にあるものの、雇用情勢や所得環境の改善が見られず、円高・株安の影響やデフレ局面にあることから景気の二番底懸念も広がっており、先行き不透明な状況の中で推移しました。

当社グループが主力をおきます自動車業界においても、国内外で実施された景気刺激策や中国市場の景気好調により、業績は回復傾向ではありますが、依然予断を許す状況ではありません。また補修部品市場におきましても保有台数の減少による市場規模の縮小傾向に歯止めがかからず、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このようななか、オートパーツ事業では新車販売の不振等により大型車関連部品の販売が振るわず、売上を伸ばすことができませんでした。プレジジョンパーツ事業では自動車生産台数の回復もあり、ハイブリッド車向け部品を中心に当初の予想よりは好調に推移しましたが、前年同期には及ばず、減収となりました。またIT事業においても、企業の設備・情報投資が回復しておらず、減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は24,718百万円（前年同期比20.0%減）、営業利益320百万円（前年同期比49.3%減）、経常利益316百万円（前年同期比50.0%減）、四半期純利益245百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

セグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

[オートパーツ事業]

自社ブランドグリーン商品やリビルト部品の売上は増加したものの、補修用ばねをはじめとする大型車部品やアルミホイールなどの冬物商品の売上が減少し、連結売上高は10,148百万円（前年同期比7.6%減）となりましたが、経費削減の取り組みにより、営業利益は164百万円（前年同期比39.9%増）と増益となりました。

[プレジジョンパーツ事業]

特にインジェクタ部品や加工品などの売上が減少し、連結売上高は13,365百万円（前年同期比24.0%減）、営業利益は205百万円（前年同期比60.8%減）となりました。

[IT事業]

機械設備や精密加工品の売上が落ち込み、連結売上高は1,204百万円（前年同期比48.3%減）、営業損失は49百万円（前年同期営業損失8百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は20,767百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,174百万円増加いたしました。

流動資産は、14,543百万円となり、2,168百万円増加いたしました。これは、主として受取手形及び売掛金が2,499百万円増加したことなどによります。

固定資産は、6,223百万円となり、6百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は14,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,032百万円増加いたしました。

流動負債は、14,018百万円となり、1,913百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金828百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が2,798百万円増加したことなどによります。

固定負債は、408百万円となり、119百万円増加いたしました。これは、退職給付引当金の増加32百万円、リース債務の増加28百万円などによります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は6,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ142百万円増加いたしました。これは、主として利益剰余金が125百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期連結会計期間末における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前第3四半期連結会計期間末と比べ358百万円(24.2%)減少し、1,125百万円となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、760百万円となり前年同四半期と比べ120百万円増加いたしました。これは、主として仕入債務の増減額が1,470百万円増加したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、36百万円となり前年同四半期と比べ191百万円増加いたしました。これは、主として有形固定資産の取得による支出が189百万円減少したことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、1,018百万円の減少となり前年同四半期と比べ807百万円減少いたしました。これは、主として短期借入金の純増減額が916百万円減少したことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成22年3月期の通期の業績予想につきましては、平成21年10月23日公表の予想数値から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

平成20年3月21日開催の取締役会で清算を決議したNHKインフォテックシンガポール有限公司につきましては、平成21年8月7日付けをもちまして会社抹消登記が完了したため、連結子会社より除外しました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,200	1,346,997
受取手形及び売掛金	8,521,075	6,021,725
商品及び製品	3,049,187	3,431,111
その他のたな卸資産	26,999	12,704
未収入金	1,604,511	1,268,218
繰延税金資産	101,208	191,026
その他	128,754	119,455
貸倒引当金	△13,391	△15,898
流動資産合計	14,543,546	12,375,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,503,130	1,572,944
土地	3,056,549	3,064,956
その他(純額)	443,074	426,379
有形固定資産合計	5,002,754	5,064,281
無形固定資産	31,461	34,531
投資その他の資産		
投資有価証券	645,698	520,057
長期貸付金	186,290	208,126
繰延税金資産	—	68,905
その他	389,060	379,409
貸倒引当金	△31,467	△58,205
投資その他の資産合計	1,189,581	1,118,293
固定資産合計	6,223,797	6,217,106
資産合計	20,767,343	18,592,446
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,637,176	7,838,358
短期借入金	2,500,000	3,328,636
リース債務	98,877	50,417
未払法人税等	50,472	51,395
役員賞与引当金	17,458	32,100
その他	714,356	804,342
流動負債合計	14,018,340	12,105,249
固定負債		
リース債務	89,048	60,444
退職給付引当金	62,371	30,255
役員退職慰労引当金	221,557	198,616
繰延税金負債	15,586	—
負ののれん	19,751	—
固定負債合計	408,315	289,315
負債合計	14,426,656	12,394,565

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,040,345	2,040,345
資本剰余金	1,251,391	1,251,391
利益剰余金	3,183,542	3,057,994
自己株式	△150,793	△150,217
株主資本合計	6,324,486	6,199,513
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	84,644	△2,358
繰延ヘッジ損益	△322	—
為替換算調整勘定	△68,120	△55,652
評価・換算差額等合計	16,201	△58,010
少数株主持分	—	56,378
純資産合計	6,340,687	6,197,881
負債純資産合計	20,767,343	18,592,446

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	30,894,921	24,718,133
売上原価	25,522,419	19,994,388
売上総利益	5,372,501	4,723,745
販売費及び一般管理費	4,740,297	4,403,199
営業利益	632,203	320,546
営業外収益		
受取利息	3,229	3,641
受取配当金	26,862	6,158
仕入割引	41,017	24,382
為替差益	9,879	122
その他	12,399	23,230
営業外収益合計	93,387	57,534
営業外費用		
支払利息	29,869	25,520
手形売却損	28,472	14,510
売掛債権売却損	15,373	—
売上割引	11,500	10,779
その他	7,550	10,812
営業外費用合計	92,766	61,623
経常利益	632,825	316,458
特別利益		
固定資産売却益	1,106	130,445
投資有価証券売却益	1,882	—
貸倒引当金戻入額	2,862	587
特別利益合計	5,852	131,032
特別損失		
固定資産除却損	1,394	1,182
会員権売却損	—	190
投資有価証券売却損	—	7,101
貸倒引当金繰入額	3,000	—
投資有価証券評価損	54,432	6,647
事業清算損	9,401	—
退職給付制度移行損失	9,288	—
特別損失合計	77,516	15,121
税金等調整前四半期純利益	561,161	432,368
法人税、住民税及び事業税	223,557	77,521
法人税等調整額	52,358	114,127
法人税等合計	275,915	191,648
少数株主損失(△)	△3,717	△5,126
四半期純利益	288,963	245,846

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	561,161	432,368
持分法による投資損益(△は益)	△75	△348
減価償却費	111,010	205,962
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,115	△29,244
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,075	△14,642
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,037	32,116
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,545	22,940
受取利息及び受取配当金	△30,091	△9,799
支払利息	29,869	25,520
投資有価証券評価損益(△は益)	54,432	6,647
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,106	△130,445
有形固定資産除却損	1,394	1,182
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,882	7,101
退職給付制度移行損失	9,288	—
会員権売却損益(△は益)	—	190
売上債権の増減額(△は増加)	154,167	△2,529,350
たな卸資産の増減額(△は増加)	△651,483	367,627
仕入債務の増減額(△は減少)	1,328,726	2,798,818
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53,035	60,616
未収入金の増減額(△は増加)	—	△336,294
その他の資産の増減額(△は増加)	△284,059	8,126
その他の負債の増減額(△は減少)	△95,541	△67,955
小計	1,123,321	851,137
利息及び配当金の受取額	28,110	8,061
利息の支払額	△29,782	△25,488
法人税等の支払額	△480,737	△72,723
営業活動によるキャッシュ・フロー	640,911	760,986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△213,546	△24,374
有形固定資産の売却による収入	91,358	62,268
投資有価証券の取得による支出	△31,358	△10,537
投資有価証券の売却による収入	2,470	20,511
関係会社株式の取得による支出	—	△31,500
貸付けによる支出	△10,000	△680
貸付金の回収による収入	6,675	21,103
会員権の売却による収入	—	759
無形固定資産の取得による支出	△648	△828
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,048	36,723

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	88,277	△828,636
自己株式の取得による支出	△141,954	△575
リース債務の返済による支出	—	△55,946
配当金の支払額	△157,885	△133,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,561	△1,018,716
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,574	△790
現金及び現金同等物の期首残高	1,222,128	1,346,997
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,483,856	1,125,200

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョン パーツ事業 (千円)	IT事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,977,665	17,585,723	2,331,532	30,894,921	—	30,894,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	10,977,665	17,585,723	2,331,532	30,894,921	(—)	30,894,921
営業利益又は営業損失(△)	117,460	523,451	△8,708	632,203	—	632,203

(注) 1 事業区分は、商品の種類及び販売経路の共通性を考慮しております。

2 事業区分の主要商品

事業区分	主要商品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、等速ジョイント、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ワンタッチバンド、ねじ、ナット、クランプ、金属資材
IT事業	光ファイバーアッセンブリー用部品、光通信デバイス用精密加工品、プラスチック光ファイバー端面加工器、コンピュータ周辺機器、セキュリティ商品・サービス、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、機械装置、測定機器、環境処理装置

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョン パーツ事業 (千円)	IT事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,148,218	13,365,657	1,204,257	24,718,133	—	24,718,133
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	10,148,218	13,365,657	1,204,257	24,718,133	(—)	24,718,133
営業利益又は営業損失(△)	164,301	205,339	△49,094	320,546	—	320,546

(注) 1 事業区分は、商品の種類及び販売経路の共通性を考慮しております。

2 事業区分の主要商品

事業区分	主要商品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション、リビルト商品、各種センサー類、故障診断機、自動車用油脂類
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、樹脂成形品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ファスナー類、クランプ、金属資材、遮熱断熱塗料、LED関連部品
IT事業	機能性コーティング・加飾コーティング、光ファイバーアッセンブリー用部品、光デバイス用精密加工品、医療画像モニター用アーム・カート、医療機器用精密加工品、液晶ディスプレイ・タッチパネル、コンピュータ周辺機器、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、車載端末機器、測定機・検査装置、生産設備・省力化機器・省エネ環境機器

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。